

令和2年度第2回狭山市立図書館協議会（書面開催）会議結果

令和3年3月17日（水）に開催を予定しておりました令和2年度第2回狭山市立図書館協議会は、新型コロナウイルス感染症に対応した緊急事態宣言の期間延長を受け、書面での開催となりました。

期間 令和3年3月17日（水）書面による審議依頼
（令和3年3月31日（水）回答期限）

議題

- （1）令和2年度事業報告について
- （2）令和3年度事業計画について
- （3）（報告）狭山台図書館の指定管理者の選定結果について
- （4）（報告）新型コロナウイルス感染症拡大防止策の影響と取り組み
- （5）その他（図書館全般に渡る意見など）

回答委員： 横田保太郎会長、阿久澤忠委員、
今福裕美子委員、齋藤裕美委員、
中島憲昭委員、指田良恵委員、
五百旗頭洋子委員、佐伯哲雄委員、
長谷川明彦委員

(1) 令和2年度事業報告について

<質問>

Q1

お楽しみパック事業について。パックの内容など、利用者からの評判はどうでしたか。

A1

リピーターが出たり、6月4日以降の開館時に「こんなものがあったのですね」との声が聞かれたり、借りた方からは「普段読まない本が読めてとてもよかった」「読み応えのあるものが読めてよかった」「いろんなジャンルの本があるのですね」といった感想が聞かれ、読書を楽しんでいただけたと思われれます。

Q2

資料から図書館訪問学習も地理的な問題もあるかと思いますが、全小学校でやっているようではないようです。また学校図書館司書が訪問している学校と訪問していない学校があると聞きます。回数多くやっている学校とやっていない学校とでは、読書環境格差ができていると思うのですが、その差は学校の体制によるものですか、学校図書館司書が訪問していないからですか。

A2

特に2年度については、コロナ禍において、感染予防や様々状況がある中で図書館への訪問が難しく、希望はあったもののキャンセルされた学校もありました。また、小学校の希望による図書館見学については中央図書館で館内案内DVDを作成し、希望校への貸出を行ったところ、ほとんどの学校から希望が寄せられ、貸出を行っています。

Q3

図書のリサイクルについて。所蔵されている本は、市民の血税で購入されており、除籍本の無償配布は、今後とも積極的に行われるべきです。

期間も約3週間設定されていて、よいと思います。事前の宣伝活動が、大切だと考えます。

実際には、何冊ぐらゐの本が、公共施設関係者そして市民の手に渡ったのでしょうか？

A3

冊数ではありませんが、用意した約300箱のうち、半分ぐらゐご利用がありました。

<意見>

1. 事業全体に対して、多彩で充実していると思います。
2. 新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言で制限もあり、活動もままならずの中で、工夫を凝らした「お楽しみパック」「シールラリー」はとても良い取り組みだったと思います。今後もこの状況が続くことも考えられる（とは思いたくありませんが）ので、この状況でもできる事を続けていって下さると大変有難いです。ありがとうございます。
3. 「お楽しみパック」は好評のようで、図書館の皆さんの知恵を出し合っ
ての活動ですばらしいアイデアだったと思います。
4. コロナ禍で子どもたちの図書館を利用する機会が少なくなり、残念ですが、学校図書館司書との情報交換が1回しかなく、もっと連携できたのではないのでしょうか。
5. 学校図書館との連携協力について。一人でも多くの市内の児童生徒を、図書館に足を運ばせたい。館員・学校関係者・保護者の共通の願いです。そのためには、学校図書館司書の理解と協力が必要です。
教育指導課と共催、人数は8名とありますが、将来的には人数が増やせることが望ましいと思います。具体的には、学校図書館司書に加えて、小学校の図書館担当教諭にも、参加できる場を設けることです。

→（事務局より補足）例年は小中学校の学校図書館担当教諭と学校図書館司書双方を対象としていたものです。2年度は会議は必要最小限、小人数で行っており、また、学校も通常とは違う中での対応も多くその負担も考慮して学校図書館担当の指導主事と相談し、学校図書館司書を通じて情報交換を行ったものです。
6. 学校への団体貸し出しについて。小学校、58回、1779冊に対して、中学校、6回、64冊。中学校への貸し出しを増やしたいと考えます。
図書館から学校図書館司書へ、密接な連携を促せると効果的であると思います。
7. ・お楽しみパックは自分で選ばなくても良く、いろんな本を読むことが出来良いと思う。
・学童は自宅とちがってゲーム等もなく、時間があるので本のパック貸しはもっと進めてもらいたい。

<その他>

1. 新型コロナウイルスという状況下での業務は大変であったと思います。
2. 令和2年度はどの団体等でも事業がコロナのため実施出来なかったので、図書館事業もしかたがなかったと思います。
3. コロナ禍で事業中止となり残念でした。
4. 報告について承認します。

(2) 令和3年度事業計画について

<質問>

Q1

おはなし会、朗読会、映画会等のイベントについて、限定配信も取り組んでいく、今後の考え方はありますか？昨年度の事業報告、映画会が中止だったので・・・。

A1

今後、どのくらいおはなし会が全くできない状況が続くのかにもよりますが、おはなし会については一方通行で行う動画配信ではなく、肉声で子どもの反応に合わせて行うことが大切と考えております。図書館で行えない時にもご家庭で行ってもらえるよう、おはなし会で紹介した本のリストをホームページ上に公開し、紹介するなどの対応をしております。

ただし、そうしたご意見もあるようですので、ホームページ上で東京子ども図書館など、配信の取組みのあるサイトの一部を紹介しております。

Q2

さやまの100冊の見直しは。新しい良書も沢山出版されています。

A2

読み継がれる質の高い本については、何年経ってもかわらないものがあります。とはいえ、現在、出版社品切れ等で入手不可のものも出てきています。子どもに読んでもらうためには、そうしたものについての見直しについては、今後、所管課に協力をしていきたいと考えております。

Q3

学校図書館司書が各学校には配属されていませんが、学校図書館司書の皆さんがもっと活躍できる活動はありませんか。

A3

令和2年度より狭山市全中学校に学校図書館司書が配置されております。また、週に1日は、小学校にも勤務しております。学校図書館の蔵書整理はもちろんのこと、図書館だよりの発行、蔵書の電子化等、狭山市の子どもたちに気持ちよく読書をしてもらえるよう、学校図書館司書は活躍をしております。

<意見>

1. コロナ禍の元、事業の推進期待しております。
2. 新型コロナウイルス感染症対策（中央図書館）お楽しみパック（子どもに限定せずに幅広い世代のパックもあったら嬉しいなと思ったり・・・大人の読む絵本セット、違ったジャンルを試してみるセット、写真、風景文のない本セットとか etc.・・・)
3. 「小学生の選んださやまの100冊」「中学生の選んださやまの100冊」など、子供目線の100冊は話題作りにもなると思います。
4. 図書館として大変だと思いますが、読書推進に有効だと思うので、ぜひ続けていただきたいと思います。
5. 絵本展示コーナー、おすすめ本の展示について。
展示されている本、館員のすぐれた選択眼が光ります。同じ本が数冊用意されているのも、利用者にとっては、有難いことです。
6. ・利用マナーの啓発は借りる側のあまえがあると思うので、厳格に対応した方が良いと思う。
・中央図書館でも（地元企業の隠れたスゴ技）の企業の紹介をしてはいかがですか。
・今年もお楽しみパック事業を継続してほしい。
7. 狭山台図書館の取り組み 大人向け朗読会を中央図書館での取り組みが行われたらと思います。

<その他>

1. 各委員さんからの意見については検討し、業務に活かしてください。
2. 事業計画がなるべく開催できますように願うばかりです。
3. 学校図書館司書が各学校に配置されることを望みます。
4. 今年もまだまだコロナ対策を継続していかなければならないので対応をお願いします。
5. 事業計画について承認します。

(3)(報告) 狭山台図書館の指定管理者の選定結果について

<質問>

Q1

中央図書館の指定管理はいつになりますか。

A1

「狭山市公共施設再編計画」では、2028年度から2037年度にかけて、中央図書館の建替えを迎える時期までに民間資本の活用を含めた民間活力の導入などの総合的な検討を進めることについて言及されております。

<その他>

1. (新年度の事業計画は良い取り組みです。地元企業の状況を広くPRしてください。) 社史やパンフレット等は今後の郷土資料となると思います。

(4)(報告) 新型コロナウイルス感染症拡大防止策の影響と取り組み

<質問>

Q1

緊急事態宣言中の貸出しは予約本のみでしたが、利用状況はどのようでしたか。

A1

貸出数は、

平成31年1月 70,108件、2月 72,576件、3月 80,601件
令和3年1月 36,188件、2月 10,875件、3月 27,593件
と、減少しています。

なお

予約数は、
平成31年1月5,990件、2月5,711件、3月5,866件
令和3年1月8,222件、2月9,303件、3月8,749件
と、大幅に増加しています。

<意見>

1. 市民等が安心して利用が出来るための取り組みとして除菌機やセルフ貸出の試行は良いと思います。
2. 示された感染症拡大防止の対策で十分かと存じます。

(5) その他図書館全般に渡る意見など

<質問>

Q1

家族が中央図書館に予約した本を受け取りに行った際、対応した館員から私の予約した本を持ち帰るようにと手渡されました。

誰が、どのような本をよんでいるかという情報は、本来秘匿されるべきものです。それ以前にも同様のことが1回ありました。

館長の見解について、お知らせいただけたらと思います。

よろしく、お願いいたします。

A2

非常に難しい課題であると認識しております。

ご指摘のように、プライバシーにかかわる部分ですので、慎重に取り扱われるべきものであると考えております。

その一方で、ご予約いただいた資料を少しでも早くお届けしたい、という思いもあります。例を挙げますと2021年4月1日現在、図書館で貸出の準備が整い、予約されたかたが来館されるのを待っている資料が、4月1日現在では約935冊となっております。それらの中には、後ろにさらに複数の方が予約されており、その本が速やかに貸し出されることを待たれている資料もあります。ご参考まで、同日現在の予約の総数は、5,077件となっております。

現状では、これらの状況を考えあわせ、運用を行っております。なお、ご利用者からのお申し出をいただいた場合には、ご家族の方にお渡しせずにご本人のご来館をお待ちするという個別の対応もさせていただいております。その場合でも、タイトルはお伝えせずに、ご家族の予約資料が貸し出しできる状態になっていることの伝言をお願いすることがあります。

<意見>

1. 小学校で読みきかせのボランティアを地域として関わっていますが、コロナ禍で地域のボランティアは学校に入って読みきかせをすることができなかったので、本の紹介など、読み聞かせへの協力をする形で活動させて頂きました。

また、今までネット予約はした事がなかったのですが、初めて利用し、緊急事態宣言中、予約して本をお借りしました。初めてだったので、予約して、予約本の登録まで。スマホ操作に少しだけとまどいはありましたが、お知らせメールも来て借りる事ができて良かったです。窓口でもスムーズに即対応して頂き、とても良かったです。ありがとうございました。このような状況の中でも、利用できる有難さを感謝しています。

図書館 HP だけでなく、SNS を利用したお知らせや募集案内もあつたら良いなとも思いました。(公民館さんの情報発信もあるので・・・) 長くなってごめんなさい。ありがとうございました。

2. 現行の貸し出し図書資料等の返却期限を遵守させる仕組みの見直しと再構築を行う。たとえば、遅延返却図書資料及び遅延利用者の洗い出しを行い、サービスの向上に努める。

3. 再びの緊急事態宣言に備えて、これまでのコロナの経緯に基づき、少しは上手に、と思います。

予約で本は借りられましたが、PC やスマホなどを持たない子供や高齢者が損をしています。図書館がデジタルデバイドを促すことにならないか心配です。書架を巡る楽しさをこんな時だからこそ失いたくないと思ったのですが。

4. 学童でも本をアルコール消毒しています。各ページは消毒できませんが、一番手が触る表紙を消毒することは、マスクは完全ではないし、無駄では無いと思います。頑張ってください。

5. コロナ禍での取り組み大変かと思いますが皆様どうぞご自愛くださいませ。